

## エヒメアヤメ

学名 *Iris rossii* Baker

目名

目名学名

科名 アヤメ科

科名学名 Iridaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)



## [選定理由]

九州は分布の南限域。県内では主に火山性高原の草原や林縁に生育する。植林や草地改良、野焼きの中止などによる森林化が進み、生育地の縮小に加えて人による採取もあり、絶滅の危険性が高い。

県内分布	国東地区, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域
分布域	本州(中部地方西部), 四国, 九州(佐賀・大分・宮崎)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部), 中国
生育環境	低地から山地の主として火山性高原の草原や林縁。
現状	植林や草地改良, 地形の改変及び野焼きの中止などによる森林化, 盗掘により個体数は減少している。
備考	大陸系遺存植物で, 九州は分布の南限域にあたる。杵築市狩宿はその自生南限地として1925年に国指定天然記念物となったが, 指定地では絶滅して1971年に指定解除された。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海]